

令和6年8月5日

東京都千代田区四番町5番地3  
科学技術振興機構（JST）  
Tel：03-5214-8404（広報課）  
URL <https://www.jst.go.jp>

## 出資型新事業創出支援プログラム（SUCCESS）における 株式会社エキュメノポリスへの出資決定について

JST（理事長 橋本 和仁）は、出資型新事業創出支援プログラム（SUCCESS）において、株式会社エキュメノポリス（本社：東京都新宿区、代表取締役 松山 洋一、以下「エキュメノポリス」という）への出資を実行しました。

エキュメノポリスは、早稲田大学の研究成果を活用した「会話AIエージェント」の開発に取り組むスタートアップです。

近年のAI技術分野の中でも、会話型AIの発展は目覚ましく、カスタマーサービス業務などへの導入が進んでいます。しかし現状の会話型AIでは、AIからの主体的な会話展開は難しく、限定した場面での活用にとどまっています。

エキュメノポリスの会話AIエージェントにはユーザーの潜在能力・潜在ニーズを自然に引き出す対話戦略を構築する機能があり、会話から得られる情報を基にした高度な能力診断、トレーニング、カウンセリングなどを得意としています。

すでに第1事業として、インタラクティブで自然に英会話練習ができる言語学習支援サービス「LANGX（ラングエックス）」を展開済みであり、今後はプラットフォーム技術として、言語学習支援以外の用途に展開するべく、研究開発を加速する予定です。

エキュメノポリスは、JSTの研究成果展開事業 大学発新産業創出プログラム（START）の研究課題「社会的会話AIを搭載したメディアサービスの事業化」（研究代表者：松山 洋一 早稲田大学 グリーン・コンピューティング・システム研究機構 客員主任研究員（研究院 准教授）、研究期間：平成31年度～令和2年度）などでの研究開発成果を基に、令和4年5月に設立されました。

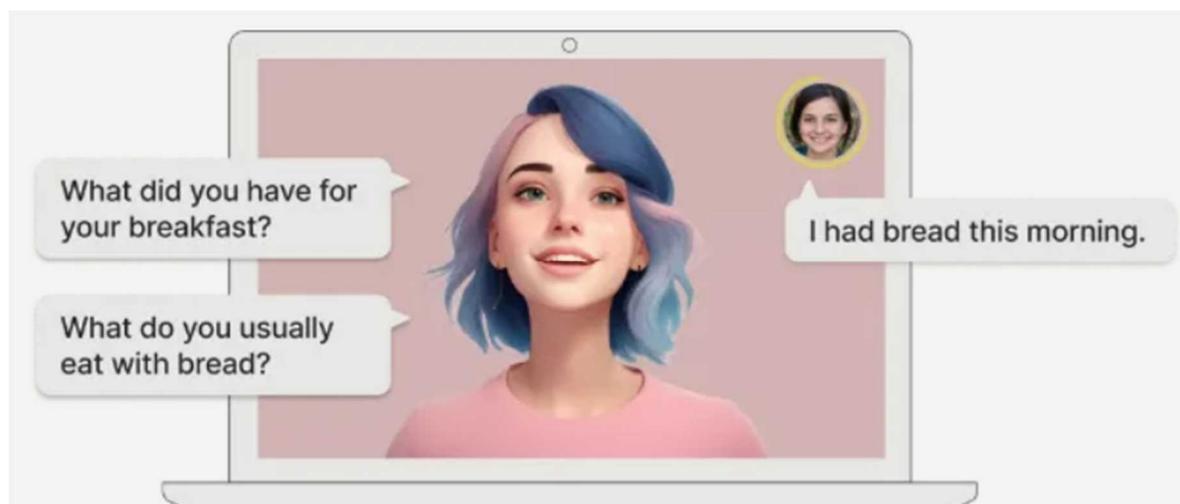


図 言語学習支援サービス「LANGX」のイメージ図

JSTは平成26年4月より「出資型新事業創出支援プログラム」(SUCCESS : Support Program of Capital Contribution to Early-Stage Companies)を実施しています。本事業は、JSTの研究開発成果の実用化を目指すベンチャー企業に対しJSTが出資並びに人的および技術的援助を行うことでその創出および成長を促進し、当該ベンチャー企業が行う事業活動を通じてJSTの研究開発成果の実用化・社会還元を促進することを目的としています。出資を通じてJSTがベンチャー企業の株主になることで、民間の資金を誘引する「呼び水効果」も志向しています。

URL : <https://www.jst.go.jp/entre/>

## <企業概要>

企業名	株式会社エキュメノポリス
設立日	令和4年5月
本社所在地	東京都新宿区
代表取締役	松山 洋一
事業内容	会話AIエージェントプラットフォームおよびそのアプリケーションの開発

## <事業展開>

株式会社エキュメノポリスは、人とAIが協調し共に成長していく社会の創出を目標とします。双方向に自然な会話ができるAIエージェントを開発し、教育や仕事のさまざまな現場に彼らを派遣することで、社会全体の創造性や生産性の向上を実現します。

現在、第1事業として言語学習支援サービス「LANG X」を展開中です。

## <お問い合わせ先>

### <エキュメノポリスに関すること>

株式会社エキュメノポリス

本社 : 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-22-3

早稲田大学 19-3号館 アントレプレナーシップセンター内

オフィス : 〒162-0042 東京都新宿区早稲田町 27

早稲田大学 グリーン・コンピューティング・システム研究センター  
301 ※郵送物はオフィスに送付をお願いします。

担当 : 代表取締役 松山 洋一 (マツヤマ ヨウイチ)

E-mail : [info@equ.ai](mailto:info@equ.ai)

URL : <https://www.equ.ai/>

### <SUCCESS事業に関すること>

科学技術振興機構 スタートアップ・技術移転推進部

スタートアップ出資・支援室

〒102-0076 東京都千代田区五番町 7 K's 五番町

朝賀 克栄 (アサカ カツエイ)

Tel : 03-6380-9014 Fax : 03-5214-0017

E-mail : entre[at]jst. go. jp

### <科学を支え、未来へつなぐ>

例えば、世界的な気候変動、エネルギーや資源、感染症や食料の問題。私たちの行く手にはあまたの困難が立ちはだかり、乗り越えるための解が求められています。JSTは、これらの困難に「科学技術」で挑みます。新たな価値を生み出すための基礎研究やスタートアップの支援、研究戦略の立案、研究の基盤となる人材の育成や情報の発信、国際卓越研究大学を支援する大学ファンドの運用など。JSTは荒波を渡る船の羅針盤となって進むべき道を示し、多角的に科学技術を支えながら、安全で豊かな暮らしを未来へとつなぎます。

JSTは、科学技術・イノベーション政策推進の中核的な役割を担う国立研究開発法人です。